

【報告事項】

2021年事業報告（第14期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

2021年 事業報告書 (第14期)

2021年1月1日から 2021年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業の成果

2021年は、プロコン関係者を中心として教育界、情報サービス産業界をはじめ一般市民や大学生など不特定多数の人が参加できる全国高専プロコン秋田大会（オンライン開催）の共催、本協会が主催する第13回国際プロコンへの海外チームの招聘（リモート参加）、外部講師を招きシンポジウムを実施するなど産学連携事業を積極的に実施しました。

広報活動としては、高専プロコン本選の動画共有サイトにおけるライブ配信と併せて、バーチャルイベント会場も昨年より拡充し大きな反響を呼びました。また、プロコンコミック「GO!GO!プロコンガール」を継続し、プロコンに参加する学生達の様子を連載することができました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)	
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月26日	オンライン	40名	応募学生・教員 および審査委員 700人	10,996	
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月9日 ～ 10月10日	オンライン (秋田市)	50名	全国高専からの コンテスト 出場学生・教員 および運営ス タッフなど 約170名		
国際コンテス ト運営事業	第13回国際プロコン開催	10月9日 ～ 10月10日	オンライン (秋田市)	5名	国外からの 参加学生・教員 21名	600	
産学連携事業	高専プロコン連携シンポジウ ム	5月21日	オンライン (東京都)	10名	教職員・学生な ど約300名	0	
広報事業	競技部門 BGM サウンド トラック CD の制作						349
	プロコンコミックの制作						718
合 計						12,663	

2021年事業報告（第14期総括）

2021年は第14期を迎え、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の収束の見通しがたない状況の中で高専プロコンは、昨年に引き続き予選・本選ともにオンライン開催となりました。しかしながら、今年は課題、自由、競技3部門全ての開催となり、概ね順調に大会が実施されたものと思います。第13回国際大会も併催され、ベトナム、モンゴル、シンガポール、香港、タイから5か国5チームが参加しました。

なお、2021年についてはオンライン開催となったことから、大会協賛を例年の半額とすることで各事業を実施致しました。

主な事業活動

【高専プロコン運営事業】

- ▶2021年6月26日（土）予選審査会 オンライン開催
- ▶2021年10月9日（土）～10日（日）本選 オンライン開催（運営本部：秋田高専）

	第31回(2020年) 苫小牧大会 ¹		第32回(2021年) 秋田大会 ²	
	チーム数	参加校数	チーム数	参加校数
本選参加者数	172		494	
参加学生（含海外）	104		278	
参加学生（選手以外）	---		---	
引率教員（含海外）	23		77	
大会役員、高専関係者	3		3	
後援団体	1		3	
協賛企業	---		---	
審査委員	13		29	
プロコン委員	37		49	
報道関係者	---		---	
小計	181		439	
一般来場者	---		---	
主管校教職員	16		55	
主管校学生	---		---	
応募数	85	41	148	59
課題部門	46	37	43	34
自由部門	39	31	54	39
競技部門	---		51	

- ・ YouTube Live の視聴者数は、下記のとおり（大会翌日 11:00 時点）
 - ▶ 開会式 1,358、特別講演 480、閉会式 533
 - ▶ 大会1日目 課題部門 2,566、自由部門 21,326、競技部門 2,476
 - ▶ 大会2日目 課題部門 1,091、自由部門 1,462、競技部門 2,255
- ・ バーチャルイベントシステムの来場者数は、本選終了時時点で 212 名（のべ 541 回）

¹ 課題、自由部門のみのオンライン開催

² 課題、自由、競技3部門のオンライン開催

第32回(2021年)秋田大会受賞校

部門	主な受賞	高専名
課題部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	鳥羽商船高専
	優秀賞	鳥羽商船高専
	特別賞	松江高専
	特別賞	舞鶴高専
	特別賞	長野高専
自由部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	大島商船高専
	優秀賞	香川高専(高松)
	特別賞	熊本高専(熊本)
	特別賞	仙台高専(広瀬)
	特別賞	小山
	特別賞	福井
競技部門	優勝	弓削商船高専
	準優勝	大阪府大高専
	第三位	久留米高専
	特別賞	香川高専(高松)
	特別賞	東京高専
	特別賞	長野高専

【国際プロコン運営事業】

I. 第13回国際プログラミングコンテスト

- 2021年10月9日（土）～10日（日）本選 オンライン開催（運営本部：秋田高専）
 - ・課題部門：シンガポールポリテクニク（シンガポール）
 - ・課題部門：香港 VTC（中国）
 - ・自由部門：ハノイ国家大学工科大学（ベトナム）
 - ・自由部門：キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ）
 - ・競技部門：ハノイ国家大学工科大学（ベトナム） ※参加申し込み取り消し
 - ・競技部門：モンゴル国立大学（モンゴル） ※本選時に出場辞退
 - ・競技部門：モンゴル科学技術大学（モンゴル）

部門	主な受賞	学校名
Themed section	Grand Prize	鳥羽商船高専
	Second Prize	鳥羽商船高専
	Special Prize	シンガポール ポリテクニク
	Special Prize	香港 VTC

Original section	Grand Prize	大島商船高専
	Second Prize	香川高専(高松)
	Special Prize	ハノイ国家大学
	Special Prize	キングモンクット工科大学ラカバン校
Competition section	Champion	弓削商船高専
	First Runner-up Prize	大阪府大高専
	Special Prize	モンゴル科学技術大学

【産学連携事業】

➤ 高専プロコン連携シンポジウム

日 時：2021年5月21日(金)

会 場：Youtube Live により全国の高専学生に Live 配信

講演名：「チームラボエンジニアの高専時代の活動」

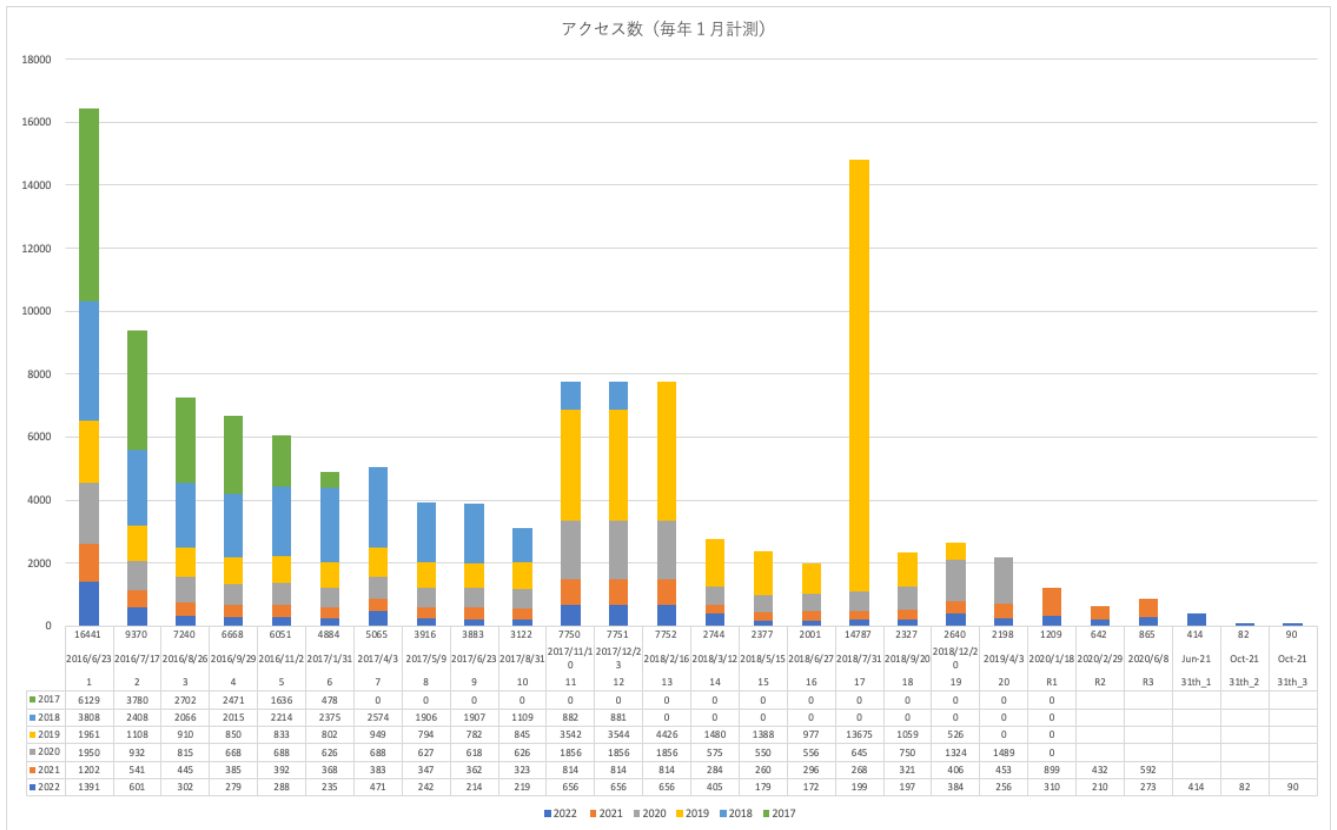
講演者：チームラボ株式会社 パッケージエンジニア 田畑 凌 氏

参加者：111名（教職員・学生） 視聴 354回

【広報活動事業】

1. 高専プロコン公式サイト、NAPROCK 公式サイト、Facebook、Twitter 等の運営シンポジウム、プロコン本選など事業関連の情報を SNS 等を通じて公開しました。
2. プロコンコミック
第 31 回大会特別レポート（3 回）を作成・公開しました。アクセス数が伸びていないのは公開時期の問題とされます。
2021 年度のアクセス数は 9,381 件でした。第 1 回へのアクセスが一番多い他、第 11～13 回および第 31 回大会特別レポートも多く、昨年と同様の傾向が見られました。

※次頁、アクセス数グラフ参照



3. メディアスポンサーの対応

メディアスポンサーとして1社 CQ 出版 (株) に協力いただきました。また、ヤフー株式会社はライブ配信、株式会社 FIXER にはバーチャルイベントの運営協力をそれぞれいただきました。

プロコン秋田大会（2021年）報道関係リスト

- 2021年7月29日 Interface 誌8月号
Information 10月9日, 10日はYouTubeで高専生を応援! 「高専プログラミングコンテスト」
<https://interface.cqpub.co.jp/2021aok002/>
 - 2021年10月1日 PR TIMES [Webサイト]
第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）をオンラインで開催します
秋田高専から10月9日（土）・10日（日）に行われる本選の様子をライブ配信
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000063.000075419.html>
 - 2021年10月4日 ReseMom [Webサイト]
第32回高専プロコンをライブ配信 10/9-10
<https://resemom.jp/article/2021/10/04/63789.html>
 - 2021年10月7日 EdTechZine [Webサイト]
「第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、10月9日・10日にオンライン開催
<https://edtechzine.jp/article/detail/6415>
 - 2021年10月9日 PR TIMES [Webサイト]
FIXER、オンライン開催の「第32回
全国高等専門学校プログラミングコンテスト」にバーチャルイベントプラットフォームを提供
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000047.000009536.html>
 - 2021年10月13日 週刊BCN [Webサイト]
高専プロコンがオンラインでフル開催、競技部門は弓削商船、課題部門は鳥羽商船、自由部門は大島
商船が優勝
https://www.weeklybcn.com/journal/news/detail/20211013_186210.html
 - 2021年10月14日 Interface [Webサイト]
2021年10月9日, 10日に開催された高専プログラミングコンテスト結果発表
<https://interface.cqpub.co.jp/211014p/>
 - 2021年10月18日 高専転職ガイド [Webサイト]
高専プロコン観戦記 2021年第32回秋田大会本選
<https://kosen-guide.jp/topics/procon2021.html>
 - 2021年11月3日 愛媛新聞 [Webサイト]
高専プログラミングコンテスト 競技部門 弓削商船全国V マイコン部5年ぶり
 - 2021年12月21日 伊勢新聞 (Yahoo、LINE ニュースにも配信)
プログラミングで全国最優秀 鳥羽商船高専、副知事に受賞報告 三重
<https://www.isenp.co.jp/2021/12/21/68660/>
 - 2021年12月21日 三重テレビ放送
マダイ養殖で遠隔からエサ プログラミングで最優秀賞
<https://nordot.app/845878147947315200?c=113147194022725109>
- ※ YouTube 高専プロコン #procon32
<https://www.youtube.com/hashtag/procon32>

【決 議 事 項】

2 0 2 2 年事業計画（第 1 5 期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

2022年事業計画書（第15期）

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報サービス産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、産業界と教育界の連携を図るためのセミナーの開催等を計画します。また、広報事業としてプロコンコミックの制作も継続して行います。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日程	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
高専プロコン運営事業	全国高専プロコンの運営(予選)	6月	東京都	40名	応募学生・教員ならびに審査委員700人	33,750
	全国高専プロコンの運営(本選)	10月	群馬県高崎市	50名	全国高専からのコンテスト出場学生・教員及び産業界からの参加者一般市民約1,000名	
国際コンテスト運営事業	国際プロコン大会開催(国内)	10月	群馬県高崎市	5名	国外からの参加学生・教員30名	6,000
産学連携事業	産学連携シンポジウム	5月	全国(ネット配信)	10名	高専教職員など約300名	130
広報事業	競技部門 BGM サウンドトラック CD					0
	プロコンコミックの制作					500
					合計	40,380

第 33 回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト開催概要（案） 「ここだんべ！ 日本一熱き IT の戦場！」

1. 主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会 （国公立高専の連合組織）
2. 共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）
3. 後援（予定）
文部科学省，総務省，経済産業省，警察庁，群馬県，群馬県教育委員会，前橋市，高崎市，前橋市教育委員会，群馬県商工会議所連合会，一般社団法人コンピュータソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，一般社団法人教育システム情報学会，国立研究開発法人情報通信研究機構，一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構，群馬産業技術センター，日本弁理士会（関東）群馬弁護士会，群馬中小企業家同友会，株式会社BCN，NHK，群馬テレビ，上毛新聞社，朝日新聞社，毎日新聞社，日刊工業新聞社，群馬銀行，群馬工業高等専門学校後援会，群馬工業高等専門学校群嶺テクノ懇話会，群馬工業高等専門学校同窓会
4. 主 管 校 群馬工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生 （専攻科生を含む）
6. 協 賛 特別協賛・一般協賛 40 社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競います
(1) 課題部門 「オンラインで生み出す新しい楽しみ」をテーマにした作品
(2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
(3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間： 2022 年 5 月 16 日（月）～23 日（月）
9. 予選（書類による審査）
日 時 2022 年 6 月 25 日（土）
会 場 東京都立産業技術高専品川キャンパス（東京都品川区東大井 1-10-40）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査，競技は対抗戦）
日 時 2022 年 10 月 15 日（土）～ 10 月 16 日（日）
会 場 G メッセ群馬（群馬県高崎市岩押町 12 番 24 号）
11. 表彰
(1) 課題・自由部門（各々）
最優秀賞 優秀賞 特別賞
(2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
(3) 最優秀賞および優勝チームには，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞並びに電子情報通信学会若手奨励賞が授与されます
(4) 協賛企業から選ばれたチームには，企業賞が授与されます
12. 備考
本大会と同時に第 14 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテストを実施
高専プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>
NAPROCK 公式サイト：<http://www.naprock.jp/>
高専プロコン Twitter 公式アカウント：[@KosenProcon](https://twitter.com/KosenProcon)
高専プロコン 公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/KosenProcon/>

第 14 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 大会概要（案）

(The 14th NAPROCK International Programming Contest, Gunma, Japan)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援・協賛 全国高専プログラミングコンテストに準じます
4. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
海外：大学生 (NAPROCK, 各高専等が招聘する者, 選抜を行なう場合があります)
5. 募集部門 (高専プロコンに準じる)
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競います
 - (1) 課題部門 「オンラインで生み出す新しい楽しみ」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
6. 募集期間 2022 年 5 月 16 日 (月) ~ 2022 年 6 月 6 日 (月)
7. 審査方法・日程
方 法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査, 競技部門は対抗戦
(新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み, オンライン開催とする可能性があります)
日 時：2022 年 10 月 15 日 (土) ~ 10 月 16 日 (日)
会 場：G メッセ群馬 (群馬県高崎市岩押町 12 番 24 号)
審査委員：全国高専プログラミングコンテストに準じます
8. 表彰
 - (1) 課題・自由部門 (各々) 国際最優秀賞 国際優秀賞 国際特別賞
Grand Prize Second Prize Special Prize
 - (2) 競技部門 国際優勝 国際準優勝 国際特別賞
Champion First-Runner-up Prize Special Prize
9. 応募要項
<http://www.naprock.jp/> (NAPROCK 公式サイト)
<https://www.facebook.com/naprock2008> (NAPROCK Facebook ページ)
<http://www.procon.gr.jp/> (プロコン公式サイト)
10. その他
 - (a) 第 33 回全国高専プログラミングコンテストと同時開催とします
 - (b) 高専プロコン委員会および主管校が運営に協力します

産学連携事業概要（案）

1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行います。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、学校においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学の交流の場を設けます。インターネット中継を使った産学連携シンポジウムを行います。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会
- (2) 地域の高専地区の近くで NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専を募り、その高専で ICT に関する実践講座を行うか、サポートを行います。

このため産業界の方、学識経験者、実務経験者、高専 OB、高専教員 OB の方の協力を得ながら、広く高専学生、高専の先生、関係者の方等に有意な実践知識を持ってもらうことを狙います。

2. 事業内容

1) 産学連携シンポジウム実施

日 程：2022 年 5 月（予定）

内 容：インターネット中継で全国の高専に発信

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知します。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行います。

(1) プロコン事業・国際プロコン事業

- プロコン募集要項の公開・周知
- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理

(2) 高専連携シンポジウム

- Twitter による意見・質問の集約
- アンケートの集計

(3) GO!GO!プロコンガールの制作

高専プロコンを題材に作品を作成します。

2-2 その他

- コンテンツの充実、SNS の活用を進めます。
- 個人会員へのサービス向上を検討します。

